

# 第2次豊田市子ども総合計画 令和元年度事業実施状況総括表



# 事業実績(重点12事業)

取組方針	事業名・概要	令和元年度実績	H27～R01 全体の総括	第3次計画
I 安心して生み育てられる支援体制の充実	24時間体制の「育児相談コールセンター」の設置 育児不安を抱える保護者に対して、子育てに関する相談などに対応できる、コールセンターを設置 (H28.9.9に開設)	24時間育児相談ができる体制の維持	H28.9.9にコールセンター開設、その後相談体制を継続できている。	継続 (コールセンター事業)
	ふれあい子育て教室の開催 1歳の誕生日を機会に、子どもの成長を確認し、「あかちゃんから幼児へ成長する時期の子育てポイント」を親子で楽しみながら学べる教室を実施	11回開催 197組の親子が参加	月1回の開催を基本にし、保育士の親子ふれあい遊び、保健師の発達についての講話等子育てポイントを伝えることができています。	継続
II すべての子どもが必要な幼児教育と保育を受けられる環境づくり	こども園での定員拡大 こども園の改築に合わせ、0～2歳児の受入枠を拡大	1園を改築、1園を幼稚園から保育所に認可化し、31人の受入枠拡大	こども園の改築等に合わせて、0～2歳児の受入枠を拡大することができ、保育需要に対応することができている。	継続
	幼保連携型認定こども園の設置の推進 私立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行を支援	—	11園の幼保連携型認定こども園への移行支援を行い、0～2歳児の受入枠拡大につなげた。幼保連携型認定こども園への移行を希望する私立幼稚園の対応は完了した。	—
	公立こども園の園舎の整備 豊田市市有財産最適化方針に基づき、こども園の長寿命化対策を実施	山之手こども園の長寿命化対策実施	こども園の長寿命化や園舎の改築、修繕などを計画的に実施することで、幼児教育・保育環境の維持・向上を図ることができている。	継続
	私立園に対する施設整備費補助 私立園の空調整備、防犯カメラ設置、修繕などの施設整備に係る費用を助成	私立こども園4件、私立幼稚園 2件、私立幼保連携型認定こども園10件の施設整備等に対する補助を実施	私立園の施設整備に係る費用を助成し、幼児教育・保育環境の維持・向上を図ることができている。	継続

取組方針	事業名・概要	令和元年度実績	H27～R01 全体の総括	第3次計画
Ⅲ子どもの権利の保障と青少年の健全育成	いじめ防止体制の整備 豊田市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止早期発見、早期対応に向けた各種の取組を実施	豊田市いじめ防止対策委員会の実施、教員によるいじめ不登校対策推進委員会の実施。 学校生活アンケート、教員保護者向けいじめ発見チェックシート、教育相談の進め方の見直しを実行	豊田市いじめ防止対策委員会において、豊田市のいじめ問題への対応方針を確認し、いじめ不登校対策推進委員会において、いじめ問題への対応方法を見直した。学校の内いじめ問題に対する意識が高まり、各校におけるいじめの状況調査の実施回数が増加している。	継続
	ソーシャルメディアの適切な利用に向けた取組 青少年健全育成推進協議会やPTA 連絡協議会などの市民団体と連携し、ソーシャルメディアの適切な利用に向けた啓発を実施	「豊田のルール4か条」の配布、小中学生がスマホを安全に使うための講演実施	小中学生がスマホを正しく安全に利用できるよう「豊田のルール4か条」を作成し、市内全小中学校にチラシを配布した。 また、青少年健全育成推進協議会やPTA 連絡協議会の行事で市民向けに講演を実施している。	継続
	放課後児童クラブと居場所づくり事業の一体的運用 すべての就学児童が放課後を安全・安心に過ごせるよう、地域子どもの居場所づくり事業との一体的な運用を目指す	浄水北小学校と土橋小学校で、両事業の交流を実施	放課後児童クラブと居場所づくり事業について、交流事業等を通じて連携を行うことができている。各事業の制度面での違いから、今後の方向性について検討が必要。	方向性の検討
	高校生・大学生の社会参加活動促進事業 大学と連携した、学生によるまちづくり提案や学生とハタラクをつなぐプロジェクトなど社会参加促進事業を実施	5事業実施 291人の学生が参加	平成27年度から高校生、大学生をターゲットとした事業を展開し、計画の指標をクリアしながら実施することができている。	継続
	若者サポートステーション・若者支援地域協議会の設置・運営 若者サポートステーション設置、豊田市若者支援地域協議会の設置、代表者会議・実務者会議の開催により、自立に対して困難を有する青少年を支援	若者支援地域協議会代表者会議（5月）、実務者会議（7月、2月）の実施、自立支援者養成講座「若者よりそいサポーター説明会」の実施	H27.4に豊田市若者サポートステーションを開設し、本人や家族から多くの相談が入り、多くの若者の就労や進学、リファーマーに繋がっている。また、若者支援地域協議会を通して、支援関係機関と顔の見える関係を築くことができている。	継続
Ⅳ地域ぐるみによる子育て社会の創造	親育ち交流カフェの開催 保護者、地域住民、学校が協力して子育てに関する研修会や情報交換を実施	21回実施 987人の保護者が参加	親同士が子育ての情報交換と悩みを共有する場を提供することで、子育てに対する不安軽減を図ることができている。	継続